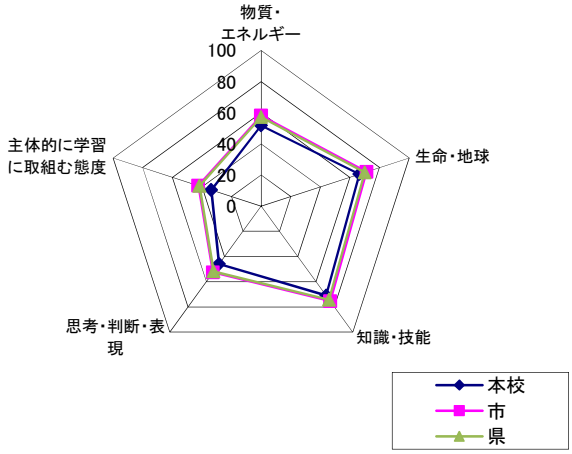
宇都宮市立宝木小学校 第５学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県，市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	51.8	58.1	57.2
	生命・地球	66.3	71.1	70.0
観点	知識・技能	71.0	75.5	74.4
	思考・判断・表現	46.1	52.7	51.9
	主体的に学習に取組む態度	33.7	42.4	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	平均正答率は，県の平均と比べて低い。 ○「物の体積と温度」における空気の体積の変わり方を問う設問の正答率は83.3%で，県の正答率を0.6ポイント上回っている。 ●「電気のはたらき」における乾電池2個を使って1個のときよりも早く車を走らせるための回路を考える設問では，県の正答率を下回っている。 ●「物の体積と力」における金属のふたを湯につけると開けやすくなる理由を問う設問では，県の正答率を下回っている。	・「直列つなぎ」と「並列つなぎ」の違いや空気の体積の変化など，基本的な知識・技能の定着に課題が見られる。実験や観察を通して体感を伴いながら理解を深めるとともに，身の回りの事象との関連を図ることで，基礎・基本的な知識の理解を深められるようにしていく。 ・グラフをもとに結果を推測する問題の正答率が低い。授業において実験をした際には，考察や結果の確認をするだけでなく，その後どのような変化が起きるかを話し合わせたり予測させたりしながら，結果を構想する力を高めていく。
生命・地球	平均正答率は，県の平均と比べて低い。 ○「天気のようすと気温」における気温をはかる条件を問う設問の正答率は82.3%で，県の正答率を8.8ポイント上回っている。 ○「雨水のゆくえと地面のようす」における水の流れとビー玉の動きの関連を問う設問の正答率は93.8%で，県の正答率を1.6ポイント上回っている。 ●「月と星」における半月の1日の動きと見える時刻の関係を問う設問では，県の正答率を大きく下回っている。	・基礎的・基本的な内容は概ね身についてきているが，条件が変わった場合の結果を推測するなどの応用する力に課題が見られる。学習内容と日常の生活の関連を重視した活動を意図的に設定したりすることで，習得した知識・技能を活用して問題を解決する力を高めていく。 ・記述式の問題では，選択式や短答の問題に比べて無回答率が高い。また，記述するが問題に合わない回答をする児童も多く見られる。観察・実験の結果を考察したりまとめたりする際に，キーワードを示すなど科学的な言葉や概念を用いて自分の言葉でまとめ，表現する力を育てていく。